

2 高盛児童館・人見児童館・本町児童館の集約について

(1) 各児童館の現況

ア 小学校の再編の状況

高盛・人見・本町児童館については、それぞれ高盛小学校・金堀小学校・千代ヶ岱小学校の通学区域に設置しているが、今年7月に教育委員会において統合校の位置は金堀小学校とし、現金堀小学校校舎を使用し、平成31年度に開校する方針を決定したところである。

イ 施設の状況

いずれも建築年数が法定耐用年数を大幅に超えている児童館であり、雨漏りを始め経年劣化による建物の不具合が多く生じているため、頻繁に修繕を実施している状況である。

[建物の構造等一覧]

児童館名	建物の構造	建築年度	築年数	法定耐用年数
高盛	木造平屋建	昭和16年度 (*昭和38年児童館に転用)	76年	24年
人見	木造平屋建	昭和42年度	50年	
本町	木造2階建	昭和48年度	44年	

ウ 利用状況

3館とも主に小学生の利用が多い。人見児童館では幼児の利用が多く、これに伴い同行する保護者の利用も多くなっている。また、児童館では閉館後の夜間に、貸館を行っている。

[平成28年度利用実績(夜間使用除く)]

(単位:人)

児童館名	未就学	小学生		中学生	高校生	小計	一般	合計	1日平均
		利用者数	1日平均						
高盛	98	4,458	16	80	0	4,636	710	5,346	19
人見	1,996	7,138	25	153	1	9,288	2,655	11,943	41
本町	448	2,185	8	58	53	2,744	1,376	4,120	15
全27館の平均	789	6,190	22	412	64	7,455	1,903	9,358	32

※1日平均:合計人数を平成28年度開館日数294日で除し、端数を切り上げて算出した。

(2) 集約について

ア 本町児童館について

「1児童館の老朽化への対応について」においては、学校再編後の通学区域を基本に対応を検討することとしている。学校再編により、本町児童館の所在地は、これまでの千代ヶ岱小学校の通学区域から柏野小学校の通学区域に変更となる。本町児童館は、同一小学校の通学区域にある単独の児童館となり、基本的考え方により、他の公共施設への移転か大規模改修を検討することとなる

が、今後の学校再編の状況によっては、柏野小学校に児童館機能の移転が可能な余裕教室が生じないことが見込まれており、さらに建物の状況から大規模改修による延命は困難である。

平成28年度の本町児童館における小学生利用者数の1日当たりの平均は、約8人となっており、全27児童館における小学生利用者数の1日当たり平均約22人と比較すると、約3分の1であり非常に少ない状況となっている。

イ 集約の考え方について

本町児童館のこれらの状況を勘案するとともに、地域の方々の協力を得ながら、現在、柏野小学校で行われている放課後子ども教室の充実に努めることとし、高盛・人見・本町児童館を集約する。

3児童館の建物の状況からいずれも大規模改修による延命化は困難であり、また、高盛・金堀・千代ヶ岱小学校の統合校には児童館機能の移転が可能な余裕教室が生じない見込みであることを確認しているほか、近隣に機能移転が可能な他の公共施設がないことから、適地で整備を行うこととする。

(3) 新たな児童館の整備の考え方について

ア 整備予定地および施設規模等

高盛・金堀・千代ヶ岱小学校の統合校の敷地内に整備する。

敷地および建物面積については、平成23年度に整備した神山児童館を参考に今後精査する。なお、財源については、次世代育成支援対策施設整備交付金および公共施設適正管理推進事業債の活用を予定している。

[参考：神山児童館]

- ・敷地面積：1,339.20㎡
- ・建物面積：478.04㎡（延床面積）

イ 児童が来館しやすい仕組みについて

学校再編による通学区域の拡大を考慮し、統合校の児童が、下校後帰宅しないで直接児童館に来館できるランドセル来館の実施を検討する。

なお、ランドセル来館は、保護者との面談を必須とする登録制とし、児童がランドセル来館を利用する日には、「連絡カード」により退館時間および帰宅の経路などについて保護者と確認するほか、登録児童や利用日の一覧を学校に提出するなどして、保護者や学校との連携が図られる仕組みとする。

(4) 今後のスケジュール（予定）

平成29年度 地域・保護者・関係者への説明

平成30年度 新児童館の実施設計

平成31年度 （統合校開校）

新児童館建築工事，ランドセル来館実施説明会・実施準備
人見児童館および本町児童館閉館（3月末）

※ 高盛児童館の閉館時期については今後決定

平成32年度 新児童館供用開始